



れんげそう

令和5年6月1日
福生第五小学校
学校通信第550号

雨ニモマケズ

校長 泉田 巧人

令和5年度の福生第五小学校では、4月の3・4年生の都立小峰公園への遠足、5月の2年生の羽村市動物公園への校外学習が雨で延期、1年生の中央公園への校外学習は、お昼に雨が降ったため学校に戻って各教室でお弁当を食べました。また、新型コロナウイルス感染症がまん延して以来、4年ぶりに全校そろって開催した運動会も何とか閉会式まで実施できましたが一時小雨が降って



雨の校庭

いました。4月、5月の行事は、ことごとく雨に泣かされる結果となっています。6月5日(月)から7日(水)まで、4月から最上級生として頑張ってきた6年生の日光移動教室です。今年度の雨の行事というジンを吹き飛ばし、絶対に晴れてほしいものです。

さて、今後梅雨に入り夏になると、台風や集中豪雨等の季節にもなります。自然の脅威は、時に大きな被害をもたらすこともあります。本校は今年度も東京都教育委員会から指定を受け、安全教育推進校として、教育活動全体を通して「生活安全」「交通安全」「災害安全」の学習を行っています。地域柄、特に「災害安全」については、防災安全マップや東京マイ・タイムライン等を作成するなど、具体的な避難についても学んでいます。職員室前に安全教育掲示板を設置し、子どもたちの学習の様子等を掲示しています。学校公開等の機会にぜひ御覧ください。

とはいえ、雨も私たちの生活になくてはならないものです。雨とはいい付き合いをしていきたいです。また、雨が使われていることわざ「雨垂れ石を穿つ(あまだれいしをうがつ)」があります。軒先からぽたぽた落ちる小さい雨のしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまう。言い換えると、どんなに小さな力でも、根気よく続けていけばいつか大きな成果が得られるということわざです。

本校の教育においても、小さなことでも根気よくコツコツと積み上げていける子どもたちに育つよう、地道に粘り強い指導を続けて行きます。子どもたちに常に「恵みの雨」が降り注ぐ学校でありたいと考えております。御家庭の御協力と御支援を、今後ともどうぞお願いいたします。

ふれあい(いじめ防止強化)月間

東京都では、6月、11月、2月に、「いじめや不登校、暴力行為等の問題行動への取組状況を総点検するとともに、問題行動の未然防止や早期発見・早期対応等につながる具体的な取組を推進すること」を目的としてふれあい月間を実施しています。

いじめは重大な人権侵害です。今年度の学校経営方針において、一人一人を大切に安全で安心な学校の実現を掲げています。いじめの未然防止や新たな不登校を生まないための、支持的風土のある居心地の良い学級づくりを行っていきます。いじめは絶対に許さないという信念の下、人権教育を柱として、家庭や地域と連携し、思いやりや感謝の気持ちをもてる児童を育む指導を行い、いじめのない学校をつくっていきます。